

学校 再編

中和小・萬歳小・古城小

NEWS

Vol.4

令和6年4月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

統合校の位置

古城小学校で意見まとまる

3月18日（月）午後6時30分から、古城小学校において（仮称）千潟地域小学校 第3回学校再編代表者会議を開催しました。

初めに、米本市長から「学校再編における市のビジョン」について説明があり、各学区の3名の委員からの質問に対して回答をしました。（詳細は裏面に掲載）

今回の会議では、「統合校の位置」を議題とし、事務局より説明が行われた後、統合校の位置について協議が行われました。会議の中では「20年後の将来ビジョンを示してもらいたい」、「中和地区で統合できないか検討したが現実的には厳しい」、「保護者の間ではもうスクールバスの話が出ている」、「萬歳から通うのは全然負担に感じていないので早く進めてほしい」などの意見がありました。（詳細は裏面に掲載）



学校再編における市のビジョンを説明する米本市長

採決の結果、3分の2以上の賛成により、統合校の位置を古城小学校にすることで意見がまとまりました。



会議前に古城小校舎内を視察する代表者会議委員

これにより、学校再編基本方針に掲げた「中和小・萬歳小・古城小を統合し、統合校の位置は古城小を活用する」という案に対して地域の合意が得られましたので、これから統合に向けた準備を本格的に進めていくことになります。

次回は「統合校の開校時期」「統合校の名称」について協議を行います。

第4回会議予定 日時：令和6年4月30日（火） 午後6時30分～

場所：ひかた市民センター 1階ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。



米本市長への質問と回答（要約）

Q1.干潟地域の子どもたちは、将来的には（仮称）北統合中学校に通うことになると思うが、干潟地域と旭北地域の9年間の義務教育構想を伺う。

A1.子どもたちが公平、安全に教育を受けられる環境を整えることは大きな使命であると考えている。

（仮称）北統合中学校についても早急に進めていきたい。現時点で小中一貫校は考えていないが、（仮称）北統合中学校を拠点として、（仮称）干潟地域小学校と（仮称）旭地域北小学校の3校がそれぞれ連携して義務教育の充実を図ってほしいと考えている。

Q2.（仮称）北統合中学校建設の際には、給食施設を学校内に造ることも検討してもらいたい。

A2.学校内に給食施設を造ると、出来立ての給食が提供できるほか、食中毒などのリスクを軽減できるなどのメリットがある一方で、設備や調理の分散による予算的なことも考慮する必要があるので、それぞれを踏まえて検討していきたい。

Q3. 統合に向けて安全で安心な学校づくりが最優先だと思うが、市長の考えは。

A3.安全で安心な学校づくりが一番大切なことだと考えているので、統合が決定した際には、工事の優先順位を付けながら整備を進めていきたい。



会議中に出た委員の意見（一部抜粋）

○干潟中学校は生徒数の減少に伴い、配属される先生の数も減っていく。（仮称）北統合中学校が実現するまでの間、教員の増員対策や特別なクラス編成をしてほしい。

○中学校の統合に合わせて小学校も小中一貫にするという前提があればいいが、萬歳地区としては古城小に縁がないのでイメージが湧かない。20年後にこうなるという将来のビジョンを示してもらいたい。

○中和地区としても、中和地区内で統合校ができないか真剣に考えたが、中和小の裏山の問題や施設の面で現実的には難しく、複式学級を回避するためには古城小しかないという結論に至った。

○周りのお母さん達の中では、もうスクールバスの話などが出ている。早く統合して、ある程度の人数の中で子どもたちを育てていきたいというのが希望だと思う。

○萬歳小で子どもを通わせている親としては、古城小に統合しても全然負担に感じない。子どもも、そのお母さん達も早く統合をしてほしいという意見が圧倒的に多いと思う。この声が萬歳地区の別の年齢層の方にも届いてほしい。

○ゆくゆくは北地域でまた統合を考えなければならない時期は絶対来ると思う。この会議で小中一貫校をやってほしいという意見があったことを議事録などで書面に残しておけば、その時に私たちの意思表示になると思う。

